三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

2022.6 vol.51

新学長が就任しました

contents

新理事長兼学長・新任理事の紹介 …… 1
今春卒業生の進路・資格取得状況 …… 3
TOPICS …… 4
連携協力協定機関紹介 …… 5
お知らせ …… 6

新理事長兼学長・新任理事の紹介

就任のごあいさつ

理事長兼学長　**片田（かただ）　範子（のりこ）**

本学は平成９年に、三重県初の看護系大学として開学しました。さらに、平成 13 年には県内で初めてとなる看護学研究科を設置し、三重県の看護学教育、研究の中核拠点としての基盤づくりをしてきました。令和４年度には開学から 25 周年を迎えます。この間、２千名以上の卒業生を輩出し、それぞれが看護師、保健師、あるいは助産師の免許を持ち、県内外で活躍しています。まさに本学の教育目的や教育理念に掲げる「質の高い人材育成」の成果が表れています。

このような歴史を持つ本学に、令和４年４月１日から、６代目の学長として着任しています。聖路加看護大学で看護学教員として出発し、兵庫県立看護大学、兵庫県立大学看護学部、関西医科大学看護学部を経て、本学で理事長・学長をさせていただいています。これまで勤務した大学も、本学と同様に、卒業時には看護師・保健師の国家試験受験資格の取得を必修としていました。「地域包括ケアシステム」や「地域包括医療」という言葉が使われ始めましたが、本学はすでに「地域交流センター」を置き、学部の全教員が兼任して、地域貢献活動を展開していました。人々がその人らしく過ごせる生活を保障するために、様々な職がその専門性を発揮して、その人にとって必要なケアを共に作る時代に我々はいます。人文社会・看護・医学・生理学・社会学・福祉など様々な知が求められ、職を超えたつながりを作る力を持つためにも、看護学の学びをとおして時代の要請を先取りできる人材を育てることが期待されています。

本学の教職員の力は、看護学の専門家と人文社会・工学・生理学の専門家がそれぞれの強みを活かし、大学人としての教養を持った卒業生を出したいと願って活動していることだと感じています。学部や大学院において、両者が共に、看護に必要な知識を創造する分野を持っています。人文社会看護学分野や自然科学看護学分野は、協同の結実として、将来の看護学の在り様を模索できる分野でもあります。

コロナ禍真っただ中の新たな出発ですが、着任してこれからお世話になる病院・組織を訪問させていただく中で、本学が三重の地に深く根ざし、それぞれの皆様と協同できる素地を開拓してきたと実感できました。地元のつながりから、他県へ、そして世界へ広がるような人材が多数出てくるのが楽しみです。また、自然と文化、海山の幸に恵まれた三重とのご縁に感謝し、これから三重の魅力を体感できることを楽しみにしています。

PROFILE

アメリカ合衆国テキサス女子大学看護学部及び修士課程、アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学博士課程にて学位を取得。

専門は看護理論・看護倫理。

兵庫県立大学副学長、関西医科大学看護学部長・大学院看護学研究科長等を歴任。

副理事長兼事務局長　**加太（かぶと）　竜一（りゅういち）**

このたび、副理事長・事務局長に就任いたしました。

大学での勤務は初めてですが、今年３月までの県医療保健部での勤務経験を生かし、しっかりと職責を果たしていきたいと思います。

さて、一昨年に始まったコロナ禍の中、医療現場で感染者と日々懸命に向き合う看護職をはじめとする医療職者の姿は、たびたび報道もされ、新たな感染症の発生にも備え、特に看護職者の重要性がこれほど認識されたことはなかったのではないでしょうか。

また、人生百年時代を見据えた健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの中での在宅医療など、看護職者の果たす役割はますます高まっています。そうした中、片田学長のもと教職員が一丸となり、社会の期待に応えることのできる看護職者の育成に努めるとともに、地域貢献にも積極的に取り組んでまいりますので、関係機関、地域の皆様には、引き続きのご支援を賜りますよう、お願いいたします。

教学研究担当理事（学部長） 大平（おおひら） 肇子（もとこ）

本年４月１日より教学研究担当理事･学部長を拝命いたしました。今年度は109名の新入生(学部生100名、大学院生９名）を迎え、学内は学生たちの前向きなエネルギーであふれています。学部では新しいカリキュラムが始まりました。異学年交流を通して学ぶ「総合課題探求」、地域社会に暮らす人々の生活を探求する「三重を知ろうⅠ」、感染症や災害時の対応を学ぶ「セーフティマネジメント」などの科目を新設しました。

長引くコロナ禍の中、学生が安心して教育が受けられるよう、教職員一丸となり一層の教育環境の整備に努めてまいります。また臨地実習では多くの施設で実習を受け入れていただき、学生の実習環境を整えて頂きましたこと、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

新理事長兼学長のもと微力ながら職責が果たせるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

企画情報担当理事（メディアコミュニケーションセンター長） 小池（こいけ） 敦（あつし）

本年４月１日より企画情報担当理事・メディアコミュニケーションセンター（MCC）長を拝命いたしました。MCCは学内のメディア環境をはじめ、図書館の運営、大学広報などに携わる部署として、その職責の重さを痛感しています。中でもメディア環境に関して、新型コロナウィルス感染症への対応を契機として、オンラインでの授業や会議が日常的な選択肢の一つになったことは否めません。一人一人が孤立しがちな状況下にあっても大学として組織の一体感を高め、県民の皆様をはじめ地域社会との繋がりをこれまで以上に拡充していくためには、さまざまなメディアを活用して新たな繋がりを作り上げていくことが重要です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

地域貢献担当理事（地域交流センター長） 林（はやし） 辰弥（たつや）

本年４月１日より地域貢献担当理事・地域交流センター長を拝命いたしました。本学では、地域交流センターが中心となって、教員各自の専門分野を活かした生涯教育の提供、地域の特性やニーズに応じた看護研究支援、連携協力協定病院をはじめとした医療機関・行政機関との連携強化、卒業生への就業・キャリア支援などを通して、本学の教育・研究の成果を地域の皆様のニーズに応じて還元してまいりました。年３回開催される多種多様なトピックスを扱った公開講座に関しては、引き続き、社会の変遷に対応しながら継続しますとともに、地域貢献機能のさらなる充実に向け、本年度からは社会の要請に応える形で認定看護師教育課程「感染管理」を、特定行為研修指定研修機関である三重大学医学部附属病院と共同して開講いたします。今後とも、地域の皆様からご指導いただきながら、本学の地域貢献活動を発展させてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

退任のごあいさつ

前理事長兼学長 菱沼（ひしぬま） 典子（みちこ）

５年間にわたり、看護大学での仕事と三重県での生活の機会をいただき、誠にありがとうございました。在任中にいただいた皆様からのご支援に、改めて御礼申し上げます。MCNレポートで再びお目にかかれますことを、うれしく思っています。

三重県立看護大学は、三重県の看護の質向上の拠点として設置され、四半世紀になります。拠点の主な活動は３つで、一つは人材育成です。学部における看護職（看護師、保健師、助産師）の育成、大学院における高度実践家（専門看護師）や教育者、研究者の育成、地域交流センターにおける認定看護師の育成や継続教育プログラムによる現場の人材のパワーアップです。二つ目が地域交流センターでの看護活動による、県民へのサービスです。公開講座や出前講座、教員提案事業などにより、幅広い健康情報の提供、活動支援を行っています。そして三つ目が研究活動です。研究により看護の知を創造し、三重県のみならず、看護の質向上に役立てています。

しかし、これらの活動は看護大学のみでできることではなく、学生・院生、講座に参加される方々、病院等の医療機関の方々、市町県の医療保健行政に関わる方々、そして学生のご家族や同窓生、あるいは近隣住民の方々など、このMCNレポートをお届けする皆様の理解と参加と支援があってこそ成り立つものです。どうぞこれからも、みかん大へのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

最後の２年間は、新型コロナウイルス感染症と共に過ごしました。先に記した全ての活動が影響を受けましたが、対面と遠隔の違いや、看護学実習の本質など、多くを学びました。元に戻るだけでなく、この経験を活かして新しい方法に変える牽引力を、みかん大に発揮して欲しいと願っています。

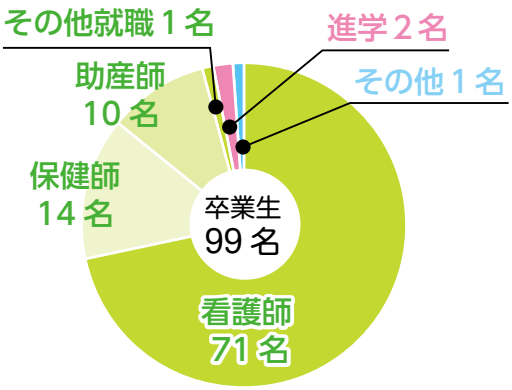
三重県立看護大学がよりその使命を全うし、県民にとって意義ある存在であり続けますよう心より期待申し上げ、ご挨拶といたします。ありがとうございました。

今春卒業生の進路・資格取得状況

令和3年度卒業生の進路・資格取得状況についてお知らせします

❶ 卒業生の進路

令和３年度卒業生の進路の内訳



就職 96 名
（県内就職 60 名・県外就職 36 名）

県内就職率 62.5%

主な就職先

県内就職先

- 三重県立総合医療センター
- 三重大学医学部附属病院
- 鈴鹿中央総合病院
- 伊勢赤十字病院
- 三重中央医療センター
- 済生会松阪総合病院
- 市立伊勢総合病院
- 桑名市総合医療センター
- 市立四日市病院
- 三重病院
- 三重県
- 桑名市
- 津市

県外就職先

- 刈谷豊田総合病院
- トヨタ記念病院
- 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
- 岐阜大学医学部附属病院
- 大阪赤十字病院
- 兵庫県立こども病院

本学では、就職支援として、就職活動の始め方や履歴書・面接のマナーを学ぶ「就活講座」や、県内医療機関や行政機関に参加いただく「就職説明会」を開催しています。また、看護師、保健師、助産師それぞれの希望職種に対し相談窓口となる教員を配置し、就職活動のサポートをしています。

今後も、医療機関や行政機関の方々と連携し、学生を支援していきます。

❷ 資格取得状況

令和３年度国家試験は、看護師令和４年２月 13 日（日）、保健師２月 11 日（金）、助産師２月 10 日（木）に行われ、３月 25 日 (金) に合否が発表されました。結果は表のとおりです。

	看護師	保健師	助産師
受験者数	99 名	99 名	10 名
合格者数	98 名	95 名	10 名
合格率	99.0%	96.0%	100.0%
全国（新卒）合格率	96.5%	93.0%	99.7%

本学では国家試験合格に向けた様々な学習のサポートを行っています。

令和４年度は、３年時の低学年模試、４年時の看護師模擬試験５回、保健師模擬試験３回、助産師模擬試験３回、さらに外部業者の特別講座を９月～ 11 月に計画しています。また後期には、本学教員による国家試験対策中心の授業を開講予定です。

学生の「国家試験対策委員」も活躍しています。学生・教員が一丸となって全員合格をめざします。

先輩から後輩へつなぐ「ようこそ先輩」

５月 11 日（水）、卒業生と在学生の交流イベント「ようこそ先輩」を開催しました。看護師・保健師・助産師として働く卒業生及び本学大学院で学ぶ卒業生をお招きし、進路決定や国家試験勉強に関することなどの体験談をお話しいただきました。在学生には、これからの学生生活の過ごし方や将来について具体的に考える貴重な機会となりました。

認定看護師教育課程「感染管理」開講

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、医療機関における感染管理の重要性が再認識され、その第一線で活動する感染管理認定看護師の育成が急務となりました。

このような社会背景のもと、令和３年度から、認定看護師教育課程（B 課程）「感染管理」の開講準備を特定行為研修指定研修機関である三重大学医学部附属病院と共同して進めてまいりましたが、日本看護協会からの認定を受け、令和４年度から開講する運びとなりました。５月 16 日には第１期生 16 名の入学式を行いました。本教育課程の開講には、三重大学医学部附属病院をはじめ、県内の医療機関の皆様には様々な形でお世話になりますが、三重県内のみならず日本全国の医療機関への感染管理認定看護師の輩出にご協力をお願いいたします。

学生のアイデア8件が県で予算化

三重県が募集する令和４年度県民参加型予算「みんつく予算（略称）」に、２年生全員で 26 件のアイデアを応募し、８件が採択されました。県の防災活動参加促進事業とオンラインを活用した不登校児童生徒の居場所づくり事業に、学生のアイデアが活かされています。令和４年４月 15 日には、県担当者が来学し、今後の事業展開について学生と意見交換をしました。

大学の出来事

3月19日　卒業式・修了式

令和３年度看護学部卒業生 99 名、大学院看護学研究科修了生 12 名の卒業式・後期修了式を行いました。卒業生・修了生の皆さんは、授業や実習、研究などにおいて新型コロナウイルス感染症による様々な影響を受けながら、それを乗り越えて学問を修められました。皆さんが本学で学んだことを活かし、次のステージで大いにご活躍されることを、教職員一同願っています。

4月4日　入学式

令和４年度看護学部新入生 100 名、大学院看護学研究科新入生９名の入学式を行いました。

式典では、一見勝之三重県知事から祝辞をいただきました。また、新入生代表が、入学の決意を宣誓しました。

新入生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう、教職員一同、サポートしていきます。

連携協力協定機関紹介

日本赤十字社 伊勢赤十字病院

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society　伊勢赤十字病院

伊勢赤十字病院は1904年に日本赤十字社最初の支部病院として設立。100年を超える歴史の中で赤十字の使命・想いを結び、地域の医療に貢献してきました。

伊勢日赤で大切にしていること

当院の看護部のビジョンは、「患者さん一人ひとりを大切に、その人のよりよく生きるを支える」こと。

急性期病院としての役割が果たせるように一人ひとりの看護実践力を高め、患者さんが住み慣れた地域に戻って生活できるように、多職種・地域との連携をさらに強化していきたいと思っています。

個々の成長を育むキャリア支援

当院は研修体制が整っており、診療科も豊富で様々な経験ができる機会がたくさんあります。自身の可能性を広げられるチャンスだと思います。

また、当院には、救急医療、災害医療、がん看護、国際救援などモデルとなるスペシャリストがそろっていて、その姿を通して自身のキャリアを考えることもできます。三重県立看護大学との人事交流で、大学院での学びのきっかけになった先輩もいます。

なにより互いを尊重しつつ、より良い看護を目指して、前向きに取り組める職場風土が、専門職としての成長を支えてくれていると思います。

「伊勢赤十字病院の看護をもっと知りたい！」方はこちらから

病院情報

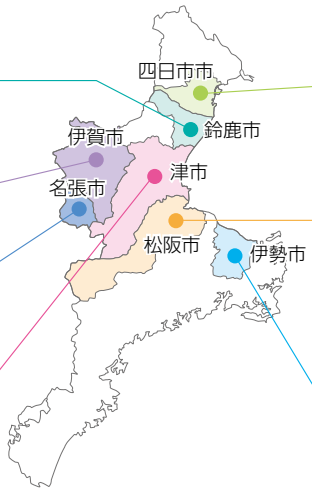
日本赤十字社　伊勢赤十字病院（明治37年2月1日開設）

- 病 床 数：一般病床　634床、感染症病床（第一種）2床、感染症病床（第二種）2床、精神病床　9床、合計　647床
- 診療科目：血液内科、感染症内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、頭頸部・耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、腫瘍内科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、形成外科、病理診断科、総合内科、脳血管内治療科、リウマチ・膠原病科、新生児科（35科）
- 職 員 数：職員数　1,331人（うち看護師・助産師747人）　令和4年4月1日現在

連携協力協定機関一覧

県内12病院・2市

- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
- 社会医療法人畿内会 岡波総合病院
- 伊賀市立上野総合市民病院
- 名張市
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構三重病院
- 三重県立一志病院
- 津市



- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 市立伊勢総合病院

「高校生のための看護職キャリアデザイン講座　一日みかんだい生」

看護職をめざしている高校生の皆さんが、自身の看護職としての適性や、将来のキャリア形成について考えることができる講座です。看護職経験者による講義や、同じ高校生、現役大学生とのワークショップの実施を予定しています。プログラムや申込方法など、詳細は本学ホームページをご確認ください。

開催日時　8月4日（木）、5日（金）12:30～16:00（予定）※2日間のうち、いずれか1日に参加いただけます。
対　　象　将来、看護職をめざしている高校生
お問い合わせ　事務局教務学生課　**電　話**　059-233-5728　**E-Mail**　kcd@mcn.ac.jp

オープンキャンパス 2022・大学院オープンゼミ

三重県立看護大学では、「看護職に興味がある」「三重県立看護大学について知りたい」という高校生を対象に、「みかんだいオープンキャンパス 2022」を開催予定です。また、大学院看護学研究科では、大学院への進学を考えている方を対象に、「令和４年度大学院オープンゼミ」をオンラインで開催予定です。
プログラムや申込方法など詳細は、本学ホームページをご確認ください。

みかんだいオープンキャンパス2022　**開催日時**　8月20日(土)10:00～12:00
プログラム　大学説明、入試説明、模擬講義、キャンパスツアー、入試相談
お問い合わせ　事務局教務学生課　**電　話**　059-233-5728　**E-Mail**　oc@mcn.ac.jp

令和４年度大学院オープンゼミ　**開催日時**　8月20日(土)13:00～15:45
【第１部】全体説明会13:00～14:30　【第２部】ゼミ訪問14:45～15:45　※第1部のみの参加も可能です
お問い合わせ　事務局教務学生課　**電　話**　059-233-5602　**E-Mail**　openseminar@mcn.ac.jp

日本看護学教育評価機構による第三者評価を受審し、「適合」と認定されました

三重県立看護大学は、一般財団法人日本看護学教育評価機構による看護学教育評価を受審し、同機構が定める基準に適合していると認定されました。
看護学教育評価は、学校教育法で義務付けられた認証評価と異なり看護学教育に特化した評価です。①教育理念・教育目標に基づく教育課程の枠組み②教育課程における教育・学習活動③教育課程の評価と改革④入学者選抜の４つの評価基準について、大学が自己点検・評価を行い、それに基づいて同機構による評価が行われます。
これからも、自己点検・評価を継続的に行い、その結果をもとに改善に取り組み、大学教育の質保証を進めていきます。
評価報告書等の資料はホームページからご覧いただけます。

さらなる発展と人材育成の充実に向けて ～学生支援のための基金への寄附のお願い～

本学では、皆さまからのご寄附を原資とする**「公立大学法人三重県立看護大学修学支援基金」**を運用しています。
この基金は、**「みかんだい進学支援給付金」**の財源として、三重県の保健・医療に貢献する意欲があるにもかかわらず、経済的理由により本学への進学が困難な人への入学時の給付金として活用しています。また、新型コロナウイルス感染症に関する支援として、令和２年度には**「生活支援給付金」**、令和３年度には実習で必要なＰＣＲ検査費用の支援を行いました。
学生への継続的な支援を可能とするため、引き続き、皆さまからご寄附を賜りますようお願い申し上げます。

■ 寄附にあたってのお得なお知らせ

本寄附金は、所得税の税額控除の対象です。
（対象：平成 31 年１月～令和５年 12 月寄附分）

■ 令和４年５月末の基金の状況

基金残高　**4,219,070 円**
寄附者数（のべ）個人 **96 名**
法人・組織 **16 団体**

お問い合わせ　事務局財務・運営課
電　話　059-233-5600

広告

津生協病院

2026年6月　新病院オープン
患者さまにとって「えんがわ」なる病院をコンセプトに！
看護師募集中

みえ医療福祉生活協同組合

患者の立場に立ち、患者の想いに寄り添い、患者とともにあゆむ看護。

みえ医療福祉生活協同組合　津生協病院
〒514－0801　津市船頭町1721　電話059－225－2848（代表）
E-mail：kangaku@tsucoop.jp　担当：岡田

広告

生きる力を支える医療へ

看護師
募集中

回復期リハビリテーションや、緩和ケアを中心とした専門性の高い大学病院です。
詳細はホームページでご確認ください。　https://nanakuri.fujita-hu.ac.jp

藤田医科大学 七栗記念病院
FUJITA HEALTH UNIVERSITY NANAKURI MEMORIAL HOSPITAL

〒514-1295 三重県津市大鳥町424番地1
TEL:059-252-1555　FAX:059-252-1383

広告

癒しの看護

患者さんが心身ともに
安らかな状態にあるように
看護を提供します

済生会松阪総合病院では病院見学、就職案内を随時実施しています。まず一度下記までお問い合わせください。

奨学資金制度あり　病院内保育園あり
三重県　女性が働きやすい医療機関認証

社会福祉法人
恩賜財団 済生会松阪総合病院

〒515-8557　三重県松阪市朝日町一区15番地6
TEL：0598-51-2626　FAX：0598-51-6557
MAIL：saisei-k@matsusaka.saiseikai.or.jp
URL：http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp

本学マスコットキャラクター
「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。

公立大学法人
三重県立看護大学

〒514-0116
三重県津市夢が丘1丁目1番地1
TEL　059-233-5600(代)
FAX　059-233-5666
https://www.mcn.ac.jp/

本学は、「大学基準協会」の定める大学基準及び「日本看護学教育評価機構」の看護学教育評価において「適合」の認定を受け、大学及び看護学教育の質について保証されています。

※「MCNレポート」の発行経費の一部に充てるため広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属するものです。